

コロナワクチンの実態を 直視し対策すべき



齋藤康夫
(参政党)

mRNAワクチンによる健康被害救済制度で認めた死亡者は800人を超えた。多くの大学教授、専門家、医師が所属する「有志医師の会」ではmRNAワクチンに対して警鐘を鳴らしている。また、国会内では川田龍平議員が「子どもへのワクチン接種と新型コロナウイルス感染症を考えると、超過死亡数が増える」という現象が起きている。これを偶然の一致と考えるには無理がある。(ア)この実態を直視すれば、ワクチン接種数と超過死亡数に何らかの関連性があると見るべきではないか。(イ)泉大津市では、10月からのワクチン接種に対する自治体補助を行っていない。なぜなら市長が「史上最大の被害被害が起きている懸念がある。」と判断しているからである。小金井市ではどのような対応をするのか。

部長

(ア)アドバイザーボードによる分析は感染者数のピークに死亡者数のピークがあるので、感染者拡大が原因とされている。(イ)ワクチン接種のエビデンスを踏まえると今後も補助は続ける。

庁舎等建設工事費の大幅増 の責任の所在を問う



渡辺大三
(子どもの権利)

庁舎等建設問題の責任の所在について。①西岡前市長の公約、その後の迷走。②西岡前市長の突然の辞職で不発に終わった「大胆な見直し」。③現行案ではコストダウン不可能だと判明しただけのナンチャッテ検証。④コストダウンへのラストチャンスとも言える住民投票条例案の否決。⑤「15億円収まる」一転「130億円超え」に。当初、西岡市長候補が言っていた金額(工事費)は67億円。現在の案の発端のところでは79億円。昨年5月に15億円に跳ね上がり、この10月には132億円にまで跳ね上がった。

障がいのある人も共に働 き共に生きる小金井市を



高木章成
(子どもの権利)

①私は大学院で東京都に障がい者就労支援政策に関する修士論文を執筆した。子どもの権利と並んで私のライフワーク。(ア)市長は選挙で「障がい者の就労支援の強化」を公約したが、取組、成果と課題は。(イ)障がい者の就労支援の強化は官民ともに取り組むべきか。市長 (ア)障がいのある人の社会活動や就労に向けた力を入れる。(イ)行政だけでなく企業の理解も必要。②(ア)本市における民間企業の障がい者就労の把握の状況は。(イ)就労移行支援・就労継続支援の課題は。(ウ)本市では障がいのある議員の介助費用の一部が議会費で賄われ、画期的であるため敷えん化を求めるが、市職員への障がい者の任用状況と課題、合理的配慮の取組は。(エ)国による雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業の検討状況や、具体的な問合せは。部長 (ア)把握できていない。(イ)課題は事業者数の不足。(ウ)雇用率は3・16%で法定雇用率を上回っている。障がいのある職員と話し合い適切に対応。ジョブコーチの運用事例はない。(エ)具体的な準備に至っていない。3件の問合せがあり、引き続き検討する。■その他、市長の政治姿勢について質問しました。

地場野菜の活用／高齢者 肺炎予防／乳幼児健診



河野麻美
(自民党・信類)

①学校給食への地場野菜の更なる活用のため野菜保管庫の整備や農家の作付けベースでの献立作成が可能となるよう栄養士と農家の意見交換会の実施を求める。部長 安定的な供給や新たな野菜を取り入れるきっかけになるため研究する。②肺炎死亡者の98%が65歳以上の高齢者であり、超高齢化社会を迎えるに当たり健康寿命延伸の施策展開が必要だ。(ア)肺炎球菌ワクチンの2回目接種を助成しないか。(イ)本年RSウイルスワクチンが承認された。費用助成等検討しないか。部長 (ア)まずは周知徹底と連携し方策を研究する。

二枚橋の通過車両問題と 小金井3・4・11号線



安田けいいち
(生活者ネット)

量の増加の懸念がある。(ウ)ならば丘住宅地開発後、当時の二枚橋プールや野川公園等へ結ぶ道路として計画された。歩行者専用道路(二枚橋の坂の通り)の通過交通の抑制を整備の効果としている。(ア)市として市道573号線の通過車両問題をどう把握しているか。(イ)すれ違いのための待避所を設置してはどうか。(ウ)線路の東側にある幅員6mの市道437号線が延伸された経緯と、車両通行止めの理由は。市道573号線と相互通行にすれば交通がスムーズになるのではないか。部長 (ア)安全確保のため交通誘導員を配置している。(イ)用地買収等の課題や交通



車両通行止めとなっている市道437号線

人と動物が共生できる 潤いある社会の実現を



片山かおる
(子どもの権利)

①(ア)動物との暮らしや触れ合いは生活を豊かにし生きる力となる。互いに支え合う主体的な関係となることのできる。動物福祉(アニマルウェルフェア)の認識は。(イ)ペット飼育が認知症発症の確率を低下させる調査の把握は。(ウ)動物との暮らしのサポートに取り組まないか。部長 (ア)動物福祉とは動物が精神的・肉体的に充分健康で幸福で環境と調和していること。(イ)把握している。(ウ)研究課題である。②(ア)ひきこもり支援の取組について。(イ)実態調査をしないか。(ウ)ひきこもり状態の人の人への集団健診の拡大を。(エ)都の支援事業への取組状況は。部長 (ア)他機関との連携推進、当事者の居場所提供、社会参加への準備支援、家族の集う場所の開催など。(イ)他市の調査結果を当てはめると、ひきこもり状態の人数は千200人から千600人と推定。(ウ)対象要件緩和は研究。(エ)都の事業周知、ひきこもりサポートネットによる相談支援、各種研修への参加推進など。■その他、子どもオンブズパーソンによる権利学習と独立機関としての意向を付度することはないか、3人目のオンブズパーソンの必要性を確認しました。

基金運用で歳入アップ／ 学童保育の大規模化対応



水谷たかこ
(こがも)

①(ア)本市よりも規模の小さい基礎自治体で、基金総額が約190億円、1年間の運用益が約7千800万円という事例がある。本市の基金と運用状況は。(イ)本市も債券運用で歳入アップを。課長職 (ア)本市の基金総額は約132億円、基金運用利子と運用収入は約69万円だ。市長 (イ)他市の状況を研究し、前に踏み出したい。②(ア)民設民営学童保育所を誘致しようとしても、物件が少なく難しい。これから進む武蔵小金井駅北口駅前東地区市街地再開発事業で、テナントに子育て支援施設が入りやすい働きかけはできないか。(イ)夏期休業中のみの学童利用の調査結果は。(ウ)今後の方向性は。部長 (ア)現時点では子育て支援施設が入る予定はないが、引き続き協議したい。(イ)学童利用者の約3割がサマー学童を利用したいとの意向が有資格者の確保や採算性から課題が大きい。教育長 (ウ)豊かな放課後の実現には、学童・放課後子ども教室・地域未来塾の連携とともに、多様なニーズに 대응することが必要。新しい施設の建設が難しい本市では、既存施設の効率的な活用が鍵になる。■その他、若者協議会の成果と課題を確認し、今後の継続について提案しました。

避難所の備蓄品の拡充 など防災対策の強化を



森戸ようじ
(日本共産党)

①防災対策について(ア)2次避難所は福祉避難所であり、子育て世代、障がい者や介護が必要な高齢者が避難するが、おむつや哺乳瓶、毛布、水等の備蓄はゼロ。備蓄をすべきではないか。(イ)生理用品は多種類を備蓄しないか。(ウ)耐震補強工事助成について、改正前耐震住宅も対象にしないか。部長 (ア)備蓄の在り方については、引き続き考えていきたい。(イ)生理用品は今後検討していきたい。(ウ)国、都、他自治体の動向を注視し課題として考えている。②市議団が実施した市民アンケートを見ても物価高騰で厳しい生活が明らか。国民健康保険税は値上げすべきではない。増税案を撤回すべき。また、子どもの均等割の軽減策を検討しないか。部長 税の公平性の観点からご負担をいただくことになる。また、必要な施策と考えるが、現状では独自財源を出すことは難しい。③優先整備路線について東京都のオープンハウスの説明は、防災対策、広域ネットワークワークや抜け道対策など問題だらけ。市長に明確な中止の要請を求める。市長 現在、防災の観点、抜け道の問題や広域ネットワークの必要性も含め、検証を実施している。

